

個人 10

受付	令和 7 年 11 月 19 日 午前・午後 9 時 00 分
----	------------------------------------

一般質問（代表個人）通告書

令和7年11月19日

尾張旭市議会議長 殿

氏名 秋田 さとし

尾張旭市議会会議規則第50条第1項の規定により12月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 3 件

2 質問方法

	1回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項（大項目）ごとに一問一答
<input type="radio"/>	1回目から 質問事項（大項目）ごとに一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 <u>No. 1</u>	学校給食のアレルギー対応と多様な食文化への配慮について
要旨	令和7年10月、高市内閣総理大臣が所信表明演説で、学校給食の無償化について「制度設計の議論を進め、安定財源の確保とあわせて来年4月から実施します」と発言されました。給食については、単なる食事の提供にとどまらず、教育・福祉・地域づくりの面で大きな意義を持っています。子どもたちの給食の意義を考えながら、以下についてお伺いします。
	(1) アレルギー対応について ア 本市においてアレルギーがある児童生徒がどの程度いるのか イ 食物アレルギーがある児童生徒に対しての対応は
	(2) 調理・提供時の安全管理体制について
	(3) 多様な食文化への配慮について (4) 今後の課題や方向性について

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>2</u>	児童虐待防止に向けた取組について
要旨	<p>児童虐待は、子どもの命と心を深く傷つける重大な問題であり、決してあってはならない行為です。しかし現実には、全国での相談・通報件数は年々増加しており、地域社会全体で子どもと家庭を支える体制の強化が急務となっています。</p> <p>愛知県の中央児童・障害者相談センター、いわゆる児童相談所と本市との連携は、虐待の早期発見と迅速な対応の要となります。各部局との情報共有や、関係機関との連携体制を強化し、子どもを守る仕組みを確かなものにしていかなければなりません。そこで以下についてお伺いします。</p> <p>(1) 本市の児童虐待通告の現状について</p> <p>(2) 本市の各部局や外部の関係機関との連携体制について</p> <p>(3) こども家庭センターでの支援体制について</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>3</u>	孤独・孤立対策と支援体制の充実について
要旨	<p>近年、家庭や地域、職場などにおける人とのつながりが希薄化し、孤独や孤立の問題が深刻化しています。特に、高齢者の独居、子育て世帯の孤立、障がいのある方や生活困窮者など、支援を必要とする方々が社会との接点を持ちづらくなるケースも少なくありません。国においても「孤独・孤立対策推進法」が施行され、自治体における取組の強化が求められています。</p> <p>そこで以下についてお伺いします。</p> <p>(1) 本市における孤独・孤立対策の現状について</p> <p>(2) 地域包括支援センターや社会福祉協議会、民間団体等との連携体制は</p> <p>(3) I C T や A I などの技術を活用した業務改善について</p> <p>(4) 今後の取組方針と、地域で「誰も孤立しないまちづくり」を進めるための考え方について</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。